

小電力無線システム委員会報告案に対するご意見と本委員会の考え方（案）

No.	提出された意見等	考え方
1	<p>1) 当該文書全体を通して ITU-R SA. 1346 に関する記述は適切である。推奨事項に示したとおり、402-405 MHz では、ヒト組織内の MICS 帯域信号の伝搬が許容範囲内である。</p> <p>2) パラグラフ 3.3.1 の MICS「干渉軽減」技法に関する記述は適切である。「Listen Before Transmit (LBT) (すなわちキャリアセンス)」及び「Adaptive Frequency Agility」スペクトルアクセス技法は干渉を軽減し、高信頼性の通信を提供するのに有効である。</p> <p>3) 402-405 MHz 帯域で他種(すなわち医療機器以外)のワイヤレスシステムを許可すると、MICS ワイヤレス植込み型医療デバイスに干渉が生じ、植込み電池の早期消耗及びデバイス交換に至るおそれがある。したがって、高齢化及び医学的用途の拡大に伴い MICS ワイヤレス植込み型デバイスの需要が持続的に増加する場合は特に、総務省は 402-405 MHz 帯域の用途を拡大し、環境アセスメント及び他の民間産業による使用を許可する計画を却下すべきである。</p> <p style="text-align: right;">Medtronic Inc. (メドトロニック社)</p>	<p>1)、2)については、本報告書案の考え方に賛同するものと承りました。</p> <p>3)については、技術的検討の範囲外であるため、コメントは差し控えた。</p>